

- 株式会社東海理化は、「SDGs経営」の実現に向け、「DXed町工場（デジタル・トランスフォームド・マチコウバ）」を合言葉に、3Dデータを軸としたものづくりに係る情報生成～伝達の自動化および可視化、デジタルコミュニケーションツールの充実等に必要、3DA図面システム・測定自動化ソフトウェア、工程設計支援ツール、生産現場デジタル管理システム等のソフトウェアや、センサー・カメラ等の設備に関する投資を実施します。
- これにより、人と情報の繋がりや情報の流れをスムーズにし、業務プロセス効率を大幅に向上させることで、事業基盤の強化を図りつつ、開発～生産のリードタイムを大幅に短縮し、お客様への提供価値を高めます。また、効率化により創出した社内リソースを新規事業開発・推進に充て、新たな提供価値創造を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2022年3月～2026年3月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

計画最終年度である2025年度において、基準値（2014年度から2018年度の5年平均）に対して、ROAを1.5%ポイント以上向上させることを目標とする

3. 前向きな取組の内容

設計・生産準備・生産プロセスの効率化により、商品等1単位あたりの製造に係る製造原価（労務費）を8.8%ポイント以上削減することを目標とする

4. 支援措置

税制措置（DX投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>

